

2015 JRバス関東本部政策フォーラム開催 組合員からの提言でバスの未来を創造し、 安全・健康・ゆとりある職場をつくろう！

JRバス関東本部は12月8日中央本部大会議室において第5回目となる政策フォーラムを開催し、たしろ議員・中央本部・JRバス東北本部・JRバス関東会社から多くの御来賓にもお越しいただく中、約120名の組合員が結集しました。

冒頭JRバス関東・東北両本部の政策実現ロードマップの提起に始まり、その後地本別ブロックと、昨年に引き続き本部バス分科会から政策提言を行いました。提言後のディスカッションにおいては傍聴した多くの組合員から発言から活発な討論が行われ、今後たしろかおる参議院議員と共に政策実現の道を切り拓くことを全体で確認しました。

政策提言一覧(発表順)

水戸ブロック(バス常磐、バス水戸、バス土浦、バス棚倉分会)

『AEDの必要性について』～私たちにも救える命がある～

大宮ブロック(バス佐野、バス古河、バス宇都宮、バス西那須野分会)

『古河駅ロータリー再構築と日野自動車移転に向けて連節バスの運行』

長野ブロック(バス伊那、バス下諏訪、バス小諸、バス長野原分会)

『火山災害から乗務員・乗客を守る！』

千葉ブロック(バス八日市場、バス館山分会)

『事故やトラブル対策について』～誰も事故やトラブルに遭遇したくない～

運輸車両部会 本部バス分科会

『高齢運転者の働き方はこのままでいいのか！』～あなたは身体にムチ打って働きますか？～

東京ブロック(バス本社、バス東京、バスセンター分会)

『事務職組合員の「相談窓口」としての分会を目指して』～「ストレスチェック制度」



最優秀政策提言は「長野ブロック」、優秀政策提言は「千葉ブロック」と「東京ブロック」となり、終了後表彰式を兼ねた全体懇親会にて団結を深めました。